

第8回 テーマ毎CPD講座(講演・見学会)報告

公益社団法人日本技術士会茨城県支部 第8回 テーマ毎CPD啓発講座は『数千年の歴史』をテーマに講演と見学会を実施した。当日は、天候に恵まれ絶好の見学日和となった。

- | | |
|---------|--|
| 1. 日 時: | 2016年2月19日(金) 9:30~15:30 |
| 2. 場 所: | ① (株)ツムラ茨城工場 〒300-1192 茨城県稲敷郡阿見町吉原 3586
② 牛久浄苑 〒300-1288 茨城県牛久市久野町 2083 |
| 3. 講 演: | (株)ツムラ 記念館 |
| 4. 見 学: | ① (株)ツムラ 漢方記念館、茨城工場
② 牛久浄苑 阿弥陀大仏 |
| 5. 参加者: | 19名(会員18名、一般1名) |

I. (株)ツムラの見学

1. 説明者: 漢方記念館 田村館長、平山氏
2. 演 題: 『(株)ツムラについて』、見学: 『漢方記念館、茨城工場』
3. 要 旨:

漢方記念館にて(株)ツムラ(自然と健康を科学する)の企業状況と漢方について説明を受け、その後、漢方記念館の展示物を丁寧な説明を聞きながら見学した。

漢方の起源、発展の歴史、生薬の現物、過去の製法等について知り、数多くの生薬があり、その生薬の組み合わせで漢方薬ができていている事を学ぶことができた。展示物には、生薬の現物があり触ったり嗅いだりと5感が刺激された。

次の茨城工場では、原料の生薬から顆粒状までの製造工程と、生薬の保管を見学した。見学中の質疑応答では、残渣(廃棄物)や水の処理方法等多くの質問があり当初の予定時間を超過するほど活発であった。なお本来なら、漢方記念館は、医師、医学生など医療関係者向けの施設であったが、今回特別に日本技術士会茨城県支部の見学が許された。



写真1 漢方記念館 田村館長のご挨拶

Ⅱ. 牛久大仏の見学

1. 説明者：牛久大仏 全般 統括局長 前川氏
同 建築関係 川田工業(株) 建築事業部 次長 池谷氏
同 落雷関係 (株)落雷抑制システムズ 代表取締役 松本氏
2. コース：浄苑内 ⇒大仏内(1F 光の世界^{徒歩}⇒ 2F 念仏の間^{エレベータ} ⇒ 展望台^{徒歩}⇒5F 霊鷲山の間^{徒歩}⇒
4F 霊鷲山の間^{エレベータ} ⇒ 2F 大仏の内部 (特別見学)^{徒歩} ⇒3F 蓮華蔵世界⇒1F)⇒浄苑内
3. 要 旨：

牛久大仏は、1995年「青銅製立像」で世界一高い(120m)としてギネスブックに登録され、發遣門(はっけんもん：お釈迦様と阿弥陀如来(大仏様)が向かい合い、我々を導く門)をくぐり、振り返ると釈迦、弥陀、二尊が拝める位置にあること等の説明を受けた。

大仏本体は、鉄骨造で外被はカーテンウォール(銅板)となっていて外部足場を設置しない構造であった。銅板は台湾で約6,000枚製造されコンテナに積込まれ日本へ運ばれた。

カーテンウォール工法の結果、可視化され1,765日の建造過程が分かる記録写真集も参加者に配布された。牛久大仏の見学では、通常一般の方には解放していない大仏裏面のカーテンウォールの取り付け状況や鉄骨造の躯体を特別に見学させていただいた。

また牛久大仏の頭頂部に取り付けられている落雷抑制型避雷針(PDCE)について説明を受けた。PDCEの設置第1号が牛久大仏である。現在では、設置後5年経過しているが落雷を受けていないと熱弁された。見学中の質疑応答では、実際の組立、修正方法やPDCE設置の経緯等の活発なやり取りがあった。



写真2 阿弥陀大仏の正面



写真3 阿弥陀大仏の内部



写真4 牛久大仏 前川氏(左奥)、落雷抑制システムズ社 松本社長(中央)、川田工業(株) 池谷氏(右奥)

Ⅲ. 見学会後の感想:

今回の見学会（数千年の歴史）は、温かい天候に恵まれツムラ（株）と牛久大仏の2個所を無事に実施することができました。

（株）ツムラの見学では、2時間30分を超えて歴史や管理体制等について技術士として、見たい事、知りたい事、聞きたい事が沢山あり、漢方のことを知る機会を得ました。

牛久大仏の見学では、前川統括局長の計らいで関係企業の方が見学会のために出向いていただき、見学コースにも帯同していただき、現場で丁寧かつ詳しく説明していただき、かつ鋭い質疑にも丁寧に応答していただきました。牛久大仏 前川氏、落雷抑制システムズ社 松本社長、川田工業(株) 池谷氏に深く感謝申し上げます。

なお落雷抑制の製造は、茨城県那珂市で製作しており「茨城産の発見」にも繋がり、非常に意義のある見学会になった。



写真5 (株)ツムラ記念館の集合写真

以上
研修委員会 手島久(写真・記事)